

# 「第2期基本構想実施計画」骨子案(たたき)

# 1. 策定にあたって（計画の前文部分）

## 1. 基本構想実施計画

「滋賀県基本構想」に基づく県の取組を進めるうえで必要な主要政策を定めるために策定。基本構想の計画年度である2019年度から2030年度までの12年間に4年ごとの3期に分けて策定するもの。

## 2. 第2期実施計画の期間

2023年度～2026年度の4年間

## 3. 策定にあたって

### (1) 第1期実施計画の検証

第1期実施計画では、政策ごとの目標を定めて施策を展開してきたところであり、2022年時点の状況として、保育所・認定子ども園等の子育て環境の整備や、中小企業の新製品開発の促進、道路・河川等の社会インフラの整備などにおいて着実な進捗が図られている一方、観光・交通分野など、とりわけコロナ禍の影響を強く受けて目標達成が非常に厳しくなっている施策や、自殺死亡率の増加、自己肯定感を持つ小学生の割合の低下など、暮らしの困難さや不安感、生きづらさや閉そく感などの影響と見られる課題が大きく残っている。

コロナ禍の状況を踏まえ、2021年には第1期実施計画の見直しを行い、新たに生じた課題の整理や目標の見直しなども行ってきたが、社会情勢の変化に対応しきれず、ひとの健康や暮らしの安全・安心を脅かす状況があったことを謙虚に省みる必要があると認識している。

### (2) 第2期実施計画の策定にあたっての方向性

第2期実施計画では、(1)の検証や次に記載する大きな情勢変化を踏まえ、先を見据えた感染症対策を進めるとともに、こころとからだの健康、安全・安心な暮らし、豊かな自然も含めた滋賀の魅力と社会・経済の活力、それらを支える基盤づくりにかかる政策を推進していく。

今後未知の変化に直面してもひるむことなく、変わらない大切なものを守ること、しなやかに変わり続けることのバランスをとりながら、滋賀の強み、人のつながり、人のちから、子どもの思いなどを大切にしながら施策の展開を図っていく。

## 〈第1期計画策定後の大きな社会情勢の変化〉

### ① コロナ危機の経験

2020年以降の新型コロナウイルス感染症の流行により、社会経済や暮らしは大きな打撃を受け、人と人とのつながりの持ちにくさ、先が見えない漠然とした不安感や悩み、生きづらさなど、こころの健康や暮らしの安心が損なわれる状況に直面することとなった。

さらに子ども・若者世代では、学びや交流の機会を奪われたことが将来に予測できない影響を残すことも懸念される。

一方で、人の命とつながりの大切さが再認識され、デジタル化の進展、分散型社会への志向、未来志向の経営革新、自然が持つ価値の再評価といった価値観の変容など、新たな社会・経済への光を見出す動きが進み、大きな転換期を迎えている。

### ② CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会の実現に向けた取組の加速化

地球温暖化による気候変動は、自然環境への影響だけでなく、自然災害や健康被害、生態系への影響等、様々な課題を引き起こしており、温室効果ガス排出削減に向けた取組は世界中に広がっている。滋賀県では2020年1月に国に先立ち「しがCO<sub>2</sub> ネットゼロムーブメント・キックオフ宣言」を行い、2022年3月に「滋賀県CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」を制定し、「滋賀県CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画」に基づいた施策を展開していく。

## 4. 施策の展開

### (1)大切な視点「ひとつづくり」「子ども・子ども・子ども」

コロナ禍で「ひと」と「ひと」の関わりが困難な状況が多くみられた中であっても、それを乗り越え、未来を切り拓くのは「ひと」の力であることを再認識。「ひと」が育ち、「ひと」が息づき、「ひと」と「ひと」がつながり、共に生きて未来を拓く希望を大事に育む滋賀であるために、様々な分野で「ひとつづくり」を重視した施策を進める。

また、社会の宝であり、共に生きる大切な仲間であり、未来を拓く光である「子ども」。「子ども」を大切に育み、「子ども」の思いや発想を大事にしながら一緒に社会をつくり、「子ども」と「子ども」に関わるみんなの笑顔が育まれるよう、「子ども・子ども・子ども」を大切に作る視点として施策を推進する。

### (2)政策の方向性(政策の柱)

基本構想では「変わる滋賀 続く幸せ」を理念とし、「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向け、みんなで目指す2030年の姿を「人」「経済」「社会」「環境」の4つの視点で描いている。

第2期実施計画では、これらの視点を「ひとの健康」「社会・経済の健康」「自然の健康」に見直し、その全てが複合的・有機的に連動して「健康しが」を実現するものと捉え、実現のための政策の柱を政策1～政策14にまとめた。

「ひとの健康」「社会・経済の健康」「自然の健康」 = 「健康しが」の実現

14の政策の柱

### (3)全部局で取り組む「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会」

「健康しが」をつくり、豊かな滋賀を次の世代に引き継ぐためには、温室効果ガス排出削減に向けた取組の推進が待ったなしの状況であることから、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた取組を全ての部局で進める。

### (4)あらゆる施策の基盤づくりとしての「DX推進」

あらゆる施策を推進するうえで、暮らしを健康でより豊かにし、地域社会の持続的発展につながる新たな価値創造のためのDX化の可能性を検討し、柔軟に取り入れるとともに、業務の効率化や質の向上等に向けたデジタル化を図る。

## 5. 目標の設定

「健康しが」の実現により達成したいことは、みんなが住み続けたいと思える滋賀であること、滋賀に誇りを感じ、滋賀で誰もが自分らしくそれぞれの「幸せ」を感じられることであり、そんな滋賀をみんなで創るという考えから、第二期実施計画では

「滋賀に住み続けたい人の割合」

「滋賀を誇りに思う人の割合」

「感じている幸せの度合い」

(滋賀県政世論調査より)

の向上を「総合目標」として設定し、この達成のために、それぞれの政策で目指す状態を「政策目標」として設定する。また各政策において主な事業を別に定め、目標と実績について毎年度把握し、検証・評価していく。

## 6. 第2期実施計画の推進にあたって

おかげさま、おたがいさまで1人1人の“自分らしさ”が大切にされ、

お互いの“自分らしさ”も大切にできる滋賀。

そんな滋賀らしさでずっと暮らせる地域づくり、それが未来にも続く滋賀、そんな「健康しが」を目指して

(仮) サブタイトル

生も死も育も楽も学も病も老も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀

～健康しがで自分らしく～

の思いで第2期実施計画を推進する。

## 2. 第2期実施計画の全体イメージ図

# (計画全体イメージ)

## 第2期基本構想実施計画

(2023年度～2026年度)

(仮)

生も死も育も楽も学も病も老も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀  
～健康しがで自分らしく～

### 〈政策目標〉

- ・ 滋賀に住み続けたいと思う人の割合
- ・ 滋賀県に誇りを持っている人の割合
- ・ 感じている幸せの度合いの平均 を今より向上させる

### 大切にしている視点

## ひとづくり

「ひと」のちから、担い手が各分野で大事にされ、育つ施策

### 政策2

からだところの健康

### 政策1

先を見据えた感染症対策

### 政策7

安全安心な地域づくり

### 大切にしている視点

## 子ども・子ども・子ども

子どもを大切に育み  
子どもと一緒に社会をつくる

### 政策3

子どもを真ん中においた社会づくり

### 政策4

生きる力と確かな学力を身に付ける教育

### 政策5

「自分らしさ」が大切にされる共生社会づくり

### 政策6

暮らしを支え豊かにする基盤づくり

### 政策13

琵琶湖を守る・活かす

### 政策14

農産漁村の持つ多面的価値の次世代への継承 (やまの健康2.0)

### 政策8

持続可能な交通まちづくり

### 政策9

事業承継と次世代の産業の創出

### 政策10

コロナ禍からの経済回復と活かづくり

### 政策11

力強い農林水産業の確立

### 政策12

環境負荷の低減と地域循環型社会の構築

### 全部局で取り組む

## CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり

「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画」に基づくCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりへの挑戦

あらゆる施策の基盤づくりとしての

**DX推進** 健康でより豊かな暮らしのために



### **3. 14の政策の柱ごとの方向性と施策の展開**

**政策1** 先を見据えた感染症対策

## 目指す方向性

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への引き続きの対応にぐわえ、今後起こりうる新たな感染症を見据え、コロナ禍の経験を生かして感染症に強い体制づくりを行う。

## 施策の展開

- 感染症危機管理対応の強化
- 感染拡大防止対策
- 相談窓口の充実

**政策2** からだとこころの健康

## 目指す方向性

- 誰もが自分らしくからだもこころも健やかな生活を送ることができるよう、生涯を通じた健康づくりと健康管理による予防を推進する。
- 生まれるときから人生の最終段階を迎えるときまで自分らしい生活が続けられるよう、多様なニーズに対応しながら、切れ目のない医療や介護などのサービスの適切な提供体制の整備や地域づくりを進める。
- 感染症拡大などの突発的な事態の発生時にも的確に医療・福祉サービスが提供できる体制強化を図る。
- メンタルヘルスケアや相談体制の充実を図り、こころの健康を支える仕組みづくりを進める。
- 文化芸術活動・スポーツを楽しむ機会や環境整備、魅力ある公園づくりを進めることで、誰もがこころもからだも元気で、豊かさが溢れる地域づくりを進める。

## 施策の展開

- 多様な主体による健康づくりの推進
- 病気の予防と健康管理の充実
- 介護予防・フレイル対策の強化
- 適切で質の高い、持続可能な医療提供体制の構築
- 高齢者の暮らしを支える体制づくり、ケアの充実
- 滋賀の医療福祉を支える人材の育成・確保と働き続けることができる環境づくり
- こころの悩みに寄り添う対策の充実
- 文化財の保全と活用
- 文化芸術を楽しむ機会と環境づくり
- 人と動物の豊かな関わり
- スポーツを楽しむ環境づくり
- “近江の城1300”の魅力発信
- 魅力ある公園づくり

**政策3** 子どもを真ん中においた社会づくり

## 目指す方向性

- 安全・安心な環境の中で子どもが生まれ育ち、誰もが安心して出産や子育てができるよう切れ目ない子ども・子育て支援を進める。
- 困難な課題を抱える子どもたちを社会全体で育む環境づくりをはじめ、「滋賀の宝」である子どもを真ん中においた社会づくりを進める。
- 子どもが参画し、子どもの目線で、子どもと一緒に社会をつくる仕組みづくりを検討する。

## 施策の展開

- 生まれる前からの切れ目のない子育て支援
- 「滋賀の宝」である子ども・若者を社会全体で応援
- 困難な課題を抱える子ども・若者を支える
- 子どもの目線で社会をつくる仕組みづくり

**政策4** 生きる力・確かな学力の向上と笑顔あふれる学校づくり

## 目指す方向性

- 子どもが確かな学力と豊かな人間性や社会性を備え、未知の時代をたくましくしなやかに生きるための力を身に付ける教育を推進する。
- ICTを活用することで多様な学びを支援する。
- 個性と魅力を高め、学び関わる全ての人々が笑顔あふれる学校づくりを進める。

## 施策の展開

- 確かな学力と子どもの個性を大切にした生きる力を育む教育
- ICTを活用した効果的で多様な学びの支援
- 笑顔あふれる学校づくりの推進

**政策5** 「自分らしさ」が大切にされる共生社会づくり

## 目指す方向性

- 誰もが自分らしく活躍できるよう、多様な人が働きやすい環境づくりや柔軟な働き方を推進するとともに、生涯にわたる学びや再挑戦を支援する。
- 多様な人々が互いに支えあい、全ての人々が相互に人権と個性を尊重し、誰も「自分らしさ」が大切にされる共生社会づくりを推進。

## 施策の展開

- 誰もが活躍できる多様な働き方の推進
- 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり
- 県立大学のあり方検討
- 「自分らしさ」を大切にし、居場所がある共生社会の実現
- 人権尊重の社会づくり

### 政策6 暮らしを支え豊かにする基盤づくり

#### 目指す方向性

- 自然環境が持つ多様な機能も生かしながら、生活や産業を支える強靱な社会インフラ整備・維持更新を着実に推進する。
- デジタル社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進し、地域や産業の持続可能な発展と県民の暮らしをより豊かにする新たな価値創造の実現を目指す。
- 図書館機能の充実や、より届ける広報の仕組みづくり、県民参加の議論の場づくり等によって、誰もが知や情報に自由に触れ、様々な意見が行き交う土壌づくりを行う。

#### 施策の展開

- 強靱な社会インフラの整備、維持管理
- 図書館の機能とネットワークの充実
- グリーンインフラの推進
- 届ける広報とみんなで熟議の滋賀県政
- 暮らしをより豊かにするためのDX推進と人材育成

### 政策7 安全安心な地域づくり

#### 目指す方向性

- 激甚化する災害への対応能力の向上に努めるとともに、自助・共助による地域防災力を強化する。
- 犯罪・交通事故の少ない地域づくりを推進する。
- 空き家対策や地域の特性に合ったコミュニティづくり、地域づくり人材の育成・確保を進める。

#### 施策の展開

- 災害に強い地域づくり、防災人材の育成・確保
- 犯罪・交通事故の少ない安全・安心な地域づくり
- 空き家の発生予防・利活用の促進
- 地域特性に合ったコミュニティづくりと地域づくり人材の育成・確保

### 政策8 持続可能な交通まちづくり

#### 目指す方向性

- 誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりに向け、市町の立地適正化計画の策定を支援するとともに、駅などの拠点での賑わいを創出するまちづくりを市町と共に進めていく。
- 公共交通の維持確保に向けた取組を進めるとともに、地域特性に応じた新たな公共交通の仕組みづくりを進める。
- 費用負担も含めた持続可能な地域交通のあり方を検討する。

#### 施策の展開

- 暮らしやすいコンパクトなまちづくりの推進
- 公共交通の維持確保に向けた取組と新たな公共交通の仕組みづくり
- 移動を支え合い交通をより良くするための税制（交通税）の検討推進

**政策9 事業承継と次世代の産業の創出**

目指す方向性

- 移住による就業の支援や、求職者と県内企業のマッチング機会の充実、外国人材の受入および育成や定着に向けて支援を充実させる。
- 多様な経営手法、先端技術の活用による生産性の向上や円滑な事業承継の支援などにより県内企業の経営基盤を強化する。
- イノベーションの創出や産業の高度化を図り、成長を続けることができる産業構造の実現を目指す。
- 社会・経済情勢の変化への対応や社会的課題の解決に向けた事業展開や起業の支援を行うとともに、世界の潮流を踏まえた産業の創造を図る。
- 産業に「触れる」「学ぶ」「つなぐ」機会や環境の創出等により次世代の産業を支える人づくりにつながる施策を推進する

施策の展開

- 人材の確保と経営の強化・事業承継
- 社会・経済情勢の変化に対応した事業展開等の支援
- 世界の潮流を踏まえた産業の創造
- 起業（人）の支援
- 新しい滋賀の高専づくりの準備促進
- 農業・林業・水産業・畜産業の担い手の育成・確保

**政策10 コロナ禍からの経済回復と活力づくり**

目指す方向性

- コロナ禍で大きな打撃を受けた経済の回復を図るとともに、感染拡大防止と経済活動の両立を図るための施策を推進する。
- 新たな時代に対応する滋賀らしいツーリズムの推進やビワイチの推進、コロナ禍を経て加速化した仕組み等を活用した活力づくりを進めるとともに滋賀の魅力のさらなる発信を行う。

施策の展開

- 中小企業活性化推進基金の活用等による支援
- 地場産業の技術力と発信力の強化
- 地域特産の魅力向上と振興
- ワークেশョンの推進
- 新たな時代に対応する滋賀らしいツーリズム（シガリズム）の推進
- 移住促進、DXの推進等による関係人口の創出
- ビワイチの推進
- 首都圏等での情報発信の充実

### 政策11 力強い農林水産業の確立

#### 目指す方向性

●先端技術の活用や加速化等により、農林水産業における生産性の向上に努めるとともに、本県のアピールポイントを生かした農林水産物の魅力発信や高付加価値化によるブランド力の強化と販路開拓を進める。

#### 施策の展開

- 農業のスマート化と六次産業化
- マーケットインの視点による農林水産業の展開
- 農林水産物のブランド力強化と販売促進
- 「琵琶湖システム」の発信強化

### 政策13 琵琶湖を守る・活かす

#### 目指す方向性

●琵琶湖とそれを取りまく環境の保全再生、自然の恵みを持続的に活用する取組を進める。  
●多様な主体との協働によりマザーレイクゴールズ（MLGs）を推進する。  
●琵琶湖や生態系等の課題解決に資する調査研究や技術開発を進めるとともに、得られた知見等の発信により世界の湖沼保全に貢献する。

#### 施策の展開

- 琵琶湖の保全再生と活用
- 生物多様性の確保
- びわ湖版SDGs「MLGs」（マザーレイクゴールズ）の推進
- 調査研究・技術開発の推進、国際的な協調と協力

### 政策12 環境負荷の低減と地域循環型社会の構築

#### 目指す方向性

●廃棄物の発生抑制や適正処理等により、環境負荷の低減と人々が安心して暮らせる生活環境づくりを目指す。  
●さらなる省エネの推進、再生可能エネルギーの導入促進を図るとともに、地域内での効率的な活用を推進する。

#### 施策の展開

- 環境負荷の低減・サーキュラーエコノミー
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 地域循環型エネルギーの創出と活用

### 政策14 森林、農山村の多面的価値の継承（やまの健康2.0）

#### 目指す方向性

●県産材の利用促進等により林業の成長産業化を図る。  
●多面的機能の持続的発揮に向けた森林の整備と森林資源の循環活発化を図る。  
●農山漁村の持つ役割や価値が見直され、多様な主体が協働することで持続可能な形で多面的機能が発揮されるよう、地域資源を活用した仕事づくりや交流等の取組を支援する。

#### 施策の展開

- 森林資源の循環活発化と林業の成長産業化
- 森林整備
- 農山漁村の活性化

## 4. 全体に通じる視点

## 全体を通じて大切にしている視点 **ひとづくり**

### 産業

滋賀の産業を支えるのは「ひと」  
滋賀の地で学び、滋賀の地で生かす機会と環境で  
「ひと」が根つき、活力をつくる。

#### ひとづくり〈産業〉の視点で進める主な施策

- (政策6より)
- 暮らしをより豊かにするためのDX推進と人材育成
- (政策9より)
- 人材確保と経営の強化・事業承継
- 企業(人)の支援
- 新しい滋賀の高専づくりの準備促進
- 農業・林業・水産業・畜産業の担い手育成・確保 など

### 社会

地域を守り、次世代につなぐ「ひと」  
自分らしく活躍できる「ひと」  
そして「ひと」が「ひと」の居場所をつくる。

#### ひとづくり〈社会〉の視点で進める主な施策

- (政策5より)
- 誰もが活躍できる多様な働き方の推進
- 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり
- 県立大学のあり方検討
- (政策7より)
- 防災人材の育成・確保
- 地域づくり人材の育成・確保 など

### 医療福祉

「ひと」と「ひと」が支え合い、希望を与え合う。こころが通う医療福祉を担う「ひと」をつくる。

#### ひとづくり〈医療福祉〉の視点で進める主な施策

- (政策2より) ○滋賀の医療福祉を支える人材の育成・確保と働き続けることができる環境づくり など

## 全体を通じて大切にしている視点 **子ども・子ども・子ども**

社会の宝であり、共に生きる大切な仲間であり、未来を拓く光である「子ども」。  
「子ども」を大切に育み、「子ども」の思いや発想を大事にしながら一緒に社会をつくり、「子ども」と「子ども」に関わるみんなの笑顔が育まれるよう子ども政策を推進するとともに、あらゆる事業において「子ども・子ども・子ども」の視点をもって取り組む。

#### (政策3より)

- 生まれる前からの切れ目のない子育て支援 ○「滋賀の宝」である子ども・若者を社会全体で応援
- 困難な課題を抱える子ども・若者を支える ○子どもの目線で社会をつくる仕組みづくり

#### (政策4より)

- 確かな学力と子どもの個性を大切にした生きる力を育む教育 ○ICTを活用した多様な学びの支援 ○笑顔あふれる学校づくりの推進 など



## 「変わる滋賀 続く幸せ」の実現に向け

### 「滋賀県CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画」に基づく施策の展開

CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会の実現に向けた施策は、あらゆる行政分野にまたがり、全ての部局で取り組むべきものとの認識で、2022年3月に策定した「滋賀県CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画」に基づき施策を展開するとともに、基本構想の実現に向けて取り組む全ての事業のなかで、CO<sub>2</sub>削減を意識し、資源・エネルギーの使用の合理化や廃棄物の発生抑制などを図る。

#### CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦

「滋賀県CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画」より

##### 第1. CO<sub>2</sub> ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換

省エネ住宅の普及、再エネの導入、次世代自動車等の普及 など

##### 第2. 自然環境と調和するCO<sub>2</sub> を排出しない地域づくり

事業活動の省エネ化再エネ導入、歩いて暮らせるまちづくり、林業の成長、持続可能な農業の拡大 など

##### 第3. 新たな価値を生みだし競争力のある産業の創出

CO<sub>2</sub> ネットゼロ産業の振興、グリーン投資の拡大 など

##### 第4. 資源の地域内循環による地域の活性化

エネルギーや農林水産物の地産地消、廃棄物の発生抑制・有効利用 など

##### 第5. 革新的なイノベーションの創出

水素エネルギー利活用の促進、エネルギー分野の専門人材育成 など

##### 第6. CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出

しがCO<sub>2</sub> ネットゼロムーブメントの拡大、MLG sのひろがり、環境学習 など

##### 第7. 気候変動への適応

気候変動に強い産業等の育成、県民のリスクへの備え など

##### 第8. 県における率先実施

公共施設の省エネ化の推進、公用車の電動化の推進、購入電力のグリーン化 など

## あらゆる施策の基盤づくりとしての DX 推進

## 「変わる滋賀 続く幸せ」の実現に向け

### 「滋賀県DX推進戦略実施計画」に基づく施策の展開

あらゆる施策を推進するうえで、暮らしを健康でより豊かにし、地域社会の持続的発展につながる新たな価値創造のためのDX化の可能性を検討し、柔軟に取り入れるとともに、業務の効率化や質の向上等に向けたデジタル化を図る。

○暮らしのDX ○産業のDX ○行政のDX ○基盤づくり、ひとづくり